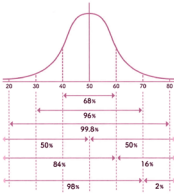


しゃっちょうは行く!

Broaden your horizons 94 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。
スーパーのお菓子売り場にも「ウ・カール」がお目見えしました。お受験のシーズンです。ひと昔前まで薬学部の偏差値は55～65で、その間に46大学がひしめき合っていたのですが、今では35～65の間に74大学が散らばっています。そもそも、偏差値の高い人とはどういう人なのでしょうか？

偏差値とは基準の50から離れるほど、学力が平均より離れていくということです。学年に1人か2人いましたよね、ずば抜けて頭の良い「構造が違うのではないか?」と思えるような人が……。彼らは苦もなく偏差値70台をたたき出します。70を超える人は全体の2%しかいません。逆に30を切る人も2%しかいません。60を超える人が16%です。逆に40を切る人が16%です。そうです、これは左右対称のグラフ、正規分布から導き出されている数字なのです。山の頂上が50で、そこから左右均等に裾野が広がっていきます。もちろん、平均的な偏差値50～60の人たちは、もれなく勉強しているはずです。もちろん、みんなが勉強好きではありません。誘惑も多いことでしょう。そんな誘惑にも負けることなく、勉強に励んだ偏差値の高い人には、「忍耐力」があり、「ストレス耐性」があるではないでしょうか。

国家試験に医療統計の問題が出るようになったおかげで、統計のお勉強をする機会が増え、面白いことに出合える機会も増えました。例えば、偏差値の元となる正規分布が、まさに統計学の基本ということも……。そうです、統計がないとお話も世渡りもできないのです。私のお気に入りには、「出会った人の16%には、本人にすごい魅力がなくても(あ、失礼)好かれる」、逆に「出会った人の16%には、本人に魅力があり、別に悪いところがなくとも嫌われる」という統計です。そう、これが、人の「魅了偏差値」です。2%の人には超コアに好かれ、2%の人には何をどうしても嫌われる? のです(笑)。

つまり、「人は誰でも見つけようと思えば、16%の中からパートナーを見つけることができる。けれど、人は誰でも16%の人から努力しても嫌われてしまうので、人間関係に100%などあり得ない」ということですよ。統計学って、すごい!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子